

# 日本応用藻類学会

## 第 18 回大会と総会のご案内

日本応用藻類学会会員各位

日本応用藻類学会会長 丸山 弘子

日本応用藻類学会第 18 回大会を、下記の要領で開催しますので、ご案内いたします。

記

1. 開催日 2019 年 5 月 11 日(土)10:00～17:15
2. 会 場 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学 楽水会館大会議室
3. 日 程

9:30～ 受付開始  
10:00～12:00 口頭発表  
13:00～13:30 口頭発表  
13:30～13:55 ポスター発表  
14:00～16:00 企画シンポジウム  
16:15～17:15 総会  
17:30～19:30 懇親会(大学会館生協食堂)

プログラムは、学会ホームページに掲載しますのでご参照ください。

ホームページ URL: <http://jsap.web.fc2.com/index.htm>

また、大会終了後に日本応用藻類学会総会を開催いたします。総会に欠席される会員は、別添様式にて委任状の提出をお願いいたします。

# 日本応用藻類学会第 18 回大会 企画シンポジウム

## 「陸上植物研究の視点に基づく紅藻生物学の可能性」

趣旨: 明治時代に本格的に始動した日本の海藻学における分類形態学の網羅的・体系的で膨大な財産は、増養殖システムの構築や人類の健康維持に寄与する機能性の解明を通して有効利用されている。一方で、海藻の基礎生物学研究はあまり進んでいない。特に、紅藻は、陸上植物よりもはるか以前に地球上に出現した初源的な植物であるにも関わらず、緑色植物中心の植物学ではほとんど注目されてこなかったのが現状である。ところが、最近のゲノムおよび網羅的遺伝子発現の解析結果は、紅藻には多くの独自の機能未知遺伝子があり、既知の生合成・代謝・シグナル伝達・遺伝子発現の関連遺伝子がほとんど存在していないことを示しており、紅藻の生物学研究により新規の生理制御機構の存在が明らかとなる可能性が考えられる。しかし、海藻分野では基礎生物学研究に必要な細胞・分子レベルでの知識や研究経験の蓄積が少ない。そのため、この状況の打開には、陸上植物研究が培ってきた考え方や方法論の貪欲な吸収や、陸上植物研究者の海藻生物学研究への参画による先端的な知識や方法論の導入が求められている。

本シンポジウムでは、紅藻を研究材料の1つに用いておられる3人の陸上植物研究者をお招きし、紅藻を扱うに至った背景や研究の方向性を紹介していただく機会を設けた。洗練された方法で生理制御の深い理解を目指す取り組みを学んでいただくと共に、海藻の基礎生物学に興味を持っていただければと期待している。

(企画責任者: 三上浩司)

### プログラム

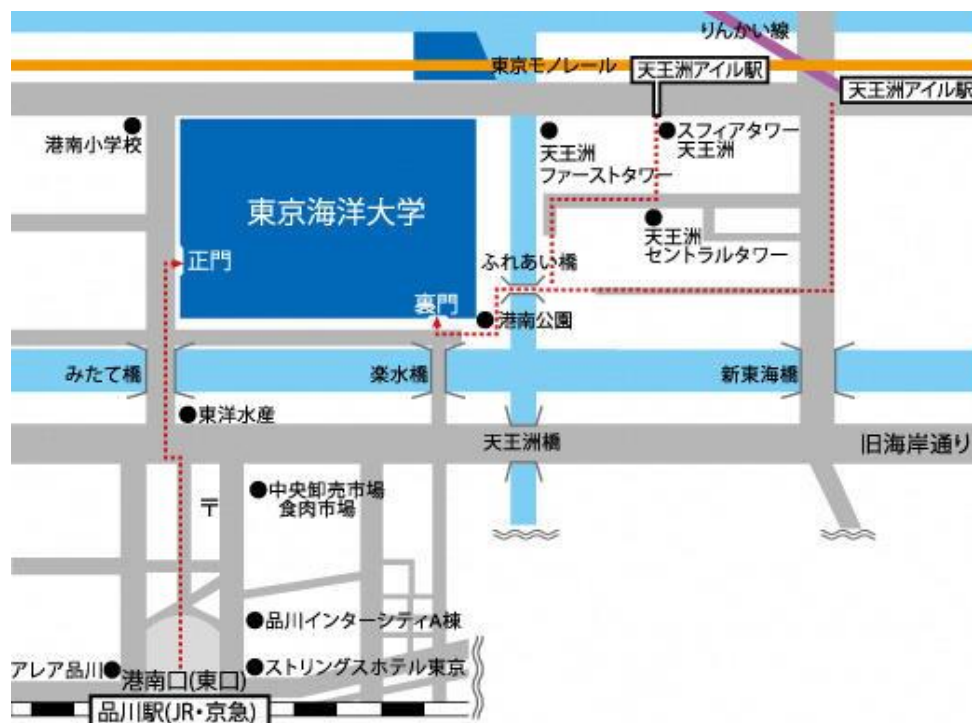
- 14:00~14:05 S01 趣旨説明  
: 三上浩司(北海道大学大学院水産科学研究院)
- 14:05~14:35 S02 Functional analysis of *Pyropia* genes using heterologous systems  
- a case of hunting genes that bestow potassium deficiency tolerance -  
: アダムス英里(理化学研究所環境資源科学研究センター)
- 14:35~15:05 S03 原始紅藻類が示す植物ホルモン研究の新しい可能性  
: 森 泉(岡山大学資源植物科学研究所)
- 15:05~15:35 S04 ライブイメージングから探る紅藻の先端成長とオルガネラ動態  
: 日渡祐二(宮城大学食産業学群)
- 15:35~16:00 S05 [総合討論]  
: 三上浩司(北海道大学大学院水産科学研究院)

#### 4. 会場案内

東京海洋大学海洋科学部(品川キャンパス)

[交通手段]

- ・JR 線・京浜急行線 品川駅港南口(東口)から徒歩約 10 分
- ・東京モノレール天王洲アイランド駅から「ふれあい橋」を渡り約 15 分
- ・りんかい線天王洲アイランド駅から「ふれあい橋」を渡り約 20 分



※楽水会館は地図中の 22 番です。

## 5. 大会参加費(今大会から参加費が変更になりました)

日本応用藻類学会員:事前申し込み 2,000 円、当日申し込み 3,000 円

日本応用藻類学会非会員:事前・当日申し込みとも 4,000 円

- \* 当日入会される参加者は、会員当日申し込み参加費(3,000 円)と年会費(5,000 円)を合わせた 8,000 円を申し受けます。

懇親会費:3,500 円程度を予定しています(大会と総会終了後に大学会館生協食堂で開催します)

**\* 参加費等は当日会場入り口の受付にて徴収いたします。**

**\* 事前参加申込期限は 2019 年 5 月 7 日(火)[必着]とします。**

**ただし、一般研究発表を希望される会員は、2019 年 4 月 26 日(金)[必着]までに登録をお済ませください。**

## 6. 参加申し込み方法

参加者は、一般研究発表の有無に関わらず、別紙会員用または非会員用の参加登録票の様式により電子メールまたは FAX でお申し込みください。研究発表の共同研究者で参加を希望される方も、同様にお申し込みください。

## 7. 一般研究発表の登録方法(口頭・ポスター発表を希望される方)

研究発表を希望される会員(演者のみ)は、別紙登録票と発表要旨の原稿を、電子メールで庶務幹事までお送りください。電子メールがお使いになれない会員は、庶務幹事までご連絡ください。会場およびプログラム上の制約から、ポスター発表への変更を依頼する場合があります。その場合はご協力をお願いします。

**研究発表の演者は、日本応用藻類学会会員に限られます。非会員で演者として研究発表を希望される方は、事前に入会申込書(末尾に添付)をファックス、または、メールで送付後にご登録をお願いいたします。なお、日本応用藻類学会の年会費は 5,000 円です。**

**\* 一般研究発表の登録 2019 年 4 月 26 日(金)[必着]が期限です。**

**\* 発表要旨原稿の送付 2019 年 5 月 2 日(木)[必着]が期限です。**

## 8. 参加申込票、一般研究発表登録票、発表要旨原稿の送付先

メールでの申し込み: soc\_appl\_phycol@yahoo.co.jp

FAX での申し込みは以下をお願いします。

FAX 088-683-7027

岡 直宏

徳島大学 生物資源産業学部附属 水圏教育研究センター

〒771-0361 徳島県鳴門市 瀬戸町堂浦 地廻り 96-14

TEL 088-856-0422

## 9. 発表要旨原稿の作成要領と原稿送付方法

原稿形式は、MS-WORD 形式の電子ファイル、またはテキストファイルのみで受け付けます。原稿は、当日要旨集として配布するとともに、会の機関誌に掲載します。

記載順序は演題、演者名、所属、本文の順に行を改めて書いて下さい。

共著の場合は演者名の前に○をつけて下さい。共著者の所属が異なるときは、各著者名の後ろに\*、\*\*、\*\*\*印(上付き)を付し、所属の前に\*、\*\*、\*\*\*印(上付き)を付して区別して下さい。

本文は**目的、方法、結果などの小見出しを付けずに、700字以内**で記載してください。

フォントサイズや書式は事務局で統一するので、特に定めを設けません。ただし、なるべく全角文字(2 バイト文字)は MS 明朝体、英字(1 バイト文字)は Times New Roman を使用して下さい。2 バイト特殊文字(例: ①, Ⅱ, °C)は、使用しないで下さい。(°C は °C のように英字 2 文字に分けてください)

句読点は和文原稿の場合、「, 」と「。」を使用して下さい。

学名表示は下線付き表示ではなく、イタリック(斜字体)で表示して下さい。打ち出し原稿をそのまま印刷しますので、著者校正はありません。

原稿は、下記の送付先に、「応用藻類春シンポジウム要旨(山田—1)」のような件名で、電子メールの添付ファイルとしてお送り下さい。図表を使われる場合は、TIF か JPG 形式で別途のファイルを添付してお送りください。なお、5Mb 以上の原稿は直接受信できない場合がありますので、事前にご連絡をお願いします。特殊な記号や JIS 外字を使った原稿については、照合用に FAX を必ずお送り下さい。

原稿送付先アドレス: [soc\\_appl\\_phycol@yahoo.co.jp](mailto:soc_appl_phycol@yahoo.co.jp)

## 10. 発表形式

### (1) 口頭発表

時間: 発表 12 分, 質疑応答 3 分です。

機器: デジタルプロジェクターのみが使用できます(OHP は使用できません)。ソフトウェアは Microsoft Power Point をご使用ください。

本大会で使用する OS および PowerPoint のバージョン:

Windows の方: Windows7 Office2010

Macintosh の方: 大変申し訳ありませんがパソコンをご持参し、プロジェクターに接続してください。接続アダプタやケーブルが必要な場合は、各自でご用意下さい。

PowerPoint ファイルの受付:

午前の発表者は 9 時 30 分までに、午後の発表者は 13:00 までに演者用パソコンにご持参しコピーして下さい。データ受け渡しメディアは **USB メモリ**とします。USB についてはウイルスチェック済みのものをご使用いただき、講演ファイル以外は保存されないことにご留意下さい。上記メディアでの受け渡しができない方は発表前日までにご相談ください。発表者ご自身の氏名をファイル名に記して下さい。(例: 山田太郎—1.ppt)

## (2)ポスター発表

サイズ:縦 120 cm 以下, 横 90 cm 以下の大きさに作成して下さい。

貼り付け用具:ピンまたはテープを事務局が準備します。

必要記載事項:ポスターの上部(高さ 15~20 cm の範囲)に, 発表番号, 表題, 氏名(所属)を明記して下さい。

構成:目的, 実験結果, 結論などについてそれぞれ簡潔にまとめた文章をつけて下さい。

写真・図表:それぞれに簡単な説明文を添付して下さい。

フォント・図表サイズ:少し離れた場所からでも判読できるよう調整して下さい。

掲示期間:5月11日(土) 11:00 までに所定の場所に掲示し, 16:15 までに撤収して下さい。ポスター集中討論を行いますので, その時間ポスター脇に待機してください。集中討論の時間は、学会ホームページに掲載されるプログラムをご確認ください。

ホームページ URL <http://jsap.web.fc2.com/index.htm>

## 【大会企画責任者】

〒252-0373

神奈川県相模原市南区北里1-15-1

北里大学医療衛生学部

再生医療・細胞デザイン研究施設

丸山弘子

E-mail: [soc\\_appl\\_phycol@yahoo.co.jp](mailto:soc_appl_phycol@yahoo.co.jp)

別紙

# 日本応用藻類学会第 18 回大会 参加登録票【日本応用藻類学会会員用】

整理番号( )

メールでのお申込みは soc\_appl\_phycol@yahoo.co.jp 日本応用藻類学会庶務幹事 岡 直宏 行

FAX での申し込みは以下をお願いします。

FAX 088-683-7027 岡 直宏(徳島大学 生物資源産業学部附属 水圏教育研究センター)

締切(必着): **事前参加登録 5 月 7 日(火)**、一般研究発表登録 4 月 26 日(金)、発表要  
旨原稿提出 5 月 2 日(木)

氏名 \_\_\_\_\_

所属 \_\_\_\_\_

Tel - - Fax - E mail \_\_\_\_\_ @

参加登録形態(□にチェック、または、不要な選択肢を削除してください)

a. 一般研究発表: しない(聴講のみ)、共著者として発表、

演者として発表→希望発表形式: 口頭発表、ポスター発表

演題: \_\_\_\_\_

発表者氏名(所属)(共著者がいる場合は、演者の左肩に○をつけて下さい):

\_\_\_\_\_  
\* 演者のみ記入。複数発表されるかたは別票に記入し、特に発表順番を指定する場合は、本欄余白に記入してください。発表要旨原稿は 5 月 2 日(必着)までにメールでご送付ください。

b. 懇親会: 参加する、参加しない

c. 弁当(お茶付きで 1,000 円を予定): 注文する、しない

d. 同伴非会員: 同伴者なし、非会員を同伴する→同伴者のご氏名と所属

氏名(所属): \_\_\_\_\_ 計 名

同伴非会員懇親会出席 \_\_\_\_\_ 名出席

**\* 複数発表される場合は、その分の本票を送付してください。**

# 日本応用藻類学会第 18 回大会

## 参加登録票【非会員用】

整理番号( )

メールでのお申込みは soc\_appl\_phycol@yahoo.co.jp 日本応用藻類学会庶務幹事 岡 直宏 行

FAX での申し込みは以下にお願いします。

FAX 088-683-7027 岡 直宏(徳島大学 生物資源産業学部附属 水圏教育研究センター)

ご芳名 \_\_\_\_\_

ご所属 \_\_\_\_\_

Tel \_\_\_\_\_ Fax \_\_\_\_\_

E mai \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_ |

(□にチェック、または、不要な選択肢を削除してください)

懇親会: 参加する、 参加しない

弁当(お茶付きで 1,000 円を予定): 注文する、 しない

同伴者がいる

氏名(所属): \_\_\_\_\_ 計 名

同伴者懇親会出席 \_\_\_\_\_ 名出席



No. \_\_\_\_\_

## 日本応用藻類学会入会申込書

私は、日本応用藻類学会の活動趣旨に賛同し、個人会員としての入会を申請します。

年 月 日

ふりがな

氏 名:

所属(職名):

住 所:

印刷物送付先住所:(上記住所と異なる場合のみご記入ください)

電話番号:

FAX番号:

E-mail:

研究分野またはご興味のある分野に○を付けてください

生物学、養殖技術、藻場造成、食品加工、  
有効成分、粘液多糖類

\* 次ページに会費振込先と事務局連絡先を記載しています。

会費振込先:

1) 郵便局からお支払いいただく場合(当学会会計幹事の原口展子名義の口座です)

記号:15350

番号:15464201

加入者名:原口展子(ハラグチ ヒロコ)

2) 銀行からの送金の場合

(1) 銀行名 ゆうちょ銀行(当学会会計幹事の原口展子名義の口座です)

店名:五三八(読み ゴサンハチ)

店番:538

預金種目:普通預金

口座番号:1546420

名義:原口展子(ハラグチ ヒロコ)

(2) 銀行口座 楽天銀行(旧イーバンク)(当学会会計幹事の原口展子名義の口座です)

店名:チェロ支店/214

貯金種目:普通貯金

口座番号:3980599

口座名義:原口展子(ハラグチ ヒロコ)

事務局連絡先:

丸山弘子(会長)

〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1

北里大学医療衛生学部 再生医療・細胞デザイン研究施設

電話・FAX:042-778-9804, E-mail:soc\_appl\_phycol@yahoo.co.jp

岡 直宏(庶務)

FAX 088-683-7027

徳島大学 生物資源産業学部附属 水圏教育研究センター

〒771-0361 徳島県鳴門市 瀬戸町堂浦 地廻り96-14

E-mail:soc\_appl\_phycol@yahoo.co.jp 又は oka.naohiro@tokushima-u.ac.jp

# 日本応用藻類学会第18回大会 企画シンポジウム

## 「陸上植物研究の視点に基づく紅藻生物学の可能性」

趣旨：明治時代に本格的に始動した日本の海藻学における分類形態学の網羅的・体系的で膨大な財産は、増養殖システムの構築や人類の健康維持に寄与する機能性の解明を通して有効利用されている。一方で、海藻の基礎生物学研究はあまり進んでいない。特に、紅藻は、陸上植物よりもはるか以前に地球上に出現した初源的な植物であるにも関わらず、緑色植物中心の植物学ではほとんど注目されてこなかったのが現状である。ところが、最近のゲノムおよび網羅的遺伝子発現の解析結果は、紅藻には多くの独自の機能未知遺伝子があり、既知の生合成・代謝・シグナル伝達・遺伝子発現の関連遺伝子がほとんど存在していないことを示しており、紅藻の生物学研究により新規の生理制御機構の存在が明らかとなる可能性が考えられる。しかし、海藻分野では基礎生物学研究に必要な細胞・分子レベルでの知識や研究経験の蓄積が少ない。そのため、この状況の打開には、陸上植物研究が培ってきた考え方や方法論の貪欲な吸収や、陸上植物研究者の海藻生物学研究への参画による先端的な知識や方法論の導入が求められている。

本シンポジウムでは、紅藻を研究材料の1つに用いておられる3人の陸上植物研究者をお招きし、紅藻を扱うに至った背景や研究の方向性を紹介していただく機会を設けた。洗練された方法で生理制御の深い理解を目指す取り組みを学んでいただくと共に、海藻の基礎生物学に興味を持っていただければと期待している。

(企画責任者：三上浩司)

### プログラム

- 14:00～14:05 S01 趣旨説明**  
：三上浩司（北海道大学大学院水産科学研究院）
- 14:05～14:35 S02 Functional analysis of *Pyropia* genes using heterologous systems - a case of hunting genes that bestow potassium deficiency tolerance -**  
：アダムス英里（理化学研究所環境資源科学研究センター）
- 14:35～15:05 S03 原始紅藻類が示す植物ホルモン研究の新しい可能性**  
：森 泉（岡山大学資源植物科学研究所）
- 15:05～15:35 S04 ライブイメージングから探る紅藻の先端成長とオルガネラ動態**  
：日渡祐二（宮城大学食産業学群）
- 15:35～16:00 S05 [総合討論]**  
：三上浩司（北海道大学大学院水産科学研究院）

開催日：2019年5月11日（土）

一般口頭発表：10:00～12:00

13:00～13:30

ポスター発表：13:30～13:55

企画シンポジウム：14:00～16:00

会 場：東京都港区港南4-5-7

東京海洋大学品川キャンパス

楽水会館大会議室

写真提供：北海道大学大学院 三上浩司氏